B0ポスター／H1030×W1456mm

茶碗の中の宇宙

樂家一子相伝の芸術

THE COSMOS IN A TEA BOWL
TRANSMITTING A SECRET ART ACROSS GENERATIONS OF
THE RAKU FAMILY

12／17（土）2016 ― 2／12（日）2017

開館時間／午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日／月曜日、年末年始（12／28－1／2）及び1月10日（火）。
但し、1月9日（月・祝）は開館。※年始は1月3日（火）から開館。
会期中、一部展示替えがあります。

主催／京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、NHK京都放送局、
NHKプラネット近畿、京都新聞、日本経済新聞社
後援／京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会
協賛／日本写真印刷
特別協力／樂美術館、国際交流基金
協力／あいおいニッセイ同和損保

京都国立近代美術館【岡崎公園内】
The National Museum of Modern Art, Kyoto

大黒　おおぐろ

このお茶碗
「だいこく」ってよむんじゃないって
「おおぐろ」ってよむ
長次郎の黒樂では
やっぱり、この茶碗が一番すごい
底から内側まですっぽりと黒釉で覆われている
それって、茶碗の中では、珍しいというか・・・、
異例なこと!!
なぜかって?
樂焼のルーツは中国の三彩（さんさい）
世界で最もカラフルな焼き物
なのに、鮮やかな色 全部捨てて、
一面、黒で塗りつぶす!!
それって現代美術と似てない!?
マーク・ロスコとか、イヴ・クラインとか、
カジミール・マレーヴィチとか

初代 長次郎
黒樂茶碗（重要文化財）
個人蔵